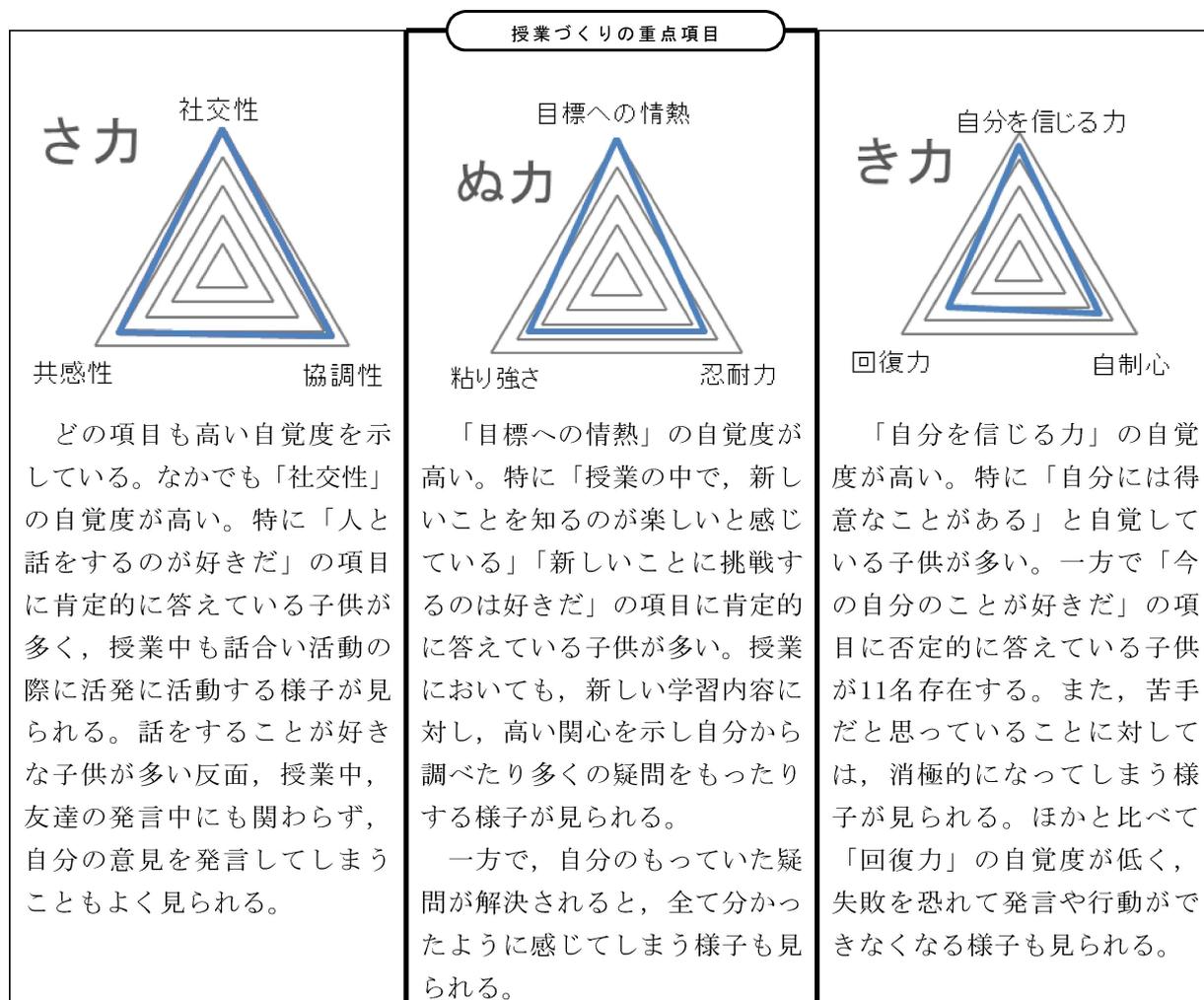


1 「さ・ぬ・き力」(非認知能力)に関する子供(34名)の実態



2 教科に関する子供の実態

- ・社会科の授業が好き。(31名) ・社会科の勉強は得意。(21名)
 - ・社会科の勉強で、考えたいことや疑問が出てくる。(20名)
 - ・社会科の授業で、できない(苦手)と思うこと。
発表(13名) 資料を見る(8名) 考えること(9名) ノートを書く(4名)
 - ・社会科の授業で、分からないことがあったときはどうするか。
友達に聞く(21名) 自分で調べる(10名) その他(3名)
 - ・社会科の教科書で、何を見るのが好きか。
写真(15名) イラスト(8名) 文章(11名)
- 坂出市でつくられている農作物については、ほとんど知らない子供が多い。特産品である三金時(にんじん、みかん、さつまいも)について、一部を知っている子供は7名であった。

3 個別支援が必要な子供の実態

A児…学習内容に対して興味をもっているときには、積極的に学習に取り組むことができ、友達の意見も集中して聞ける。一方で、課題に難しさを感じたときや、やるべきことが分からなくなってしまうときには、活動が止まってしまうことがある。

第3学年西組 社会科学習指導案

「坂出市発、小原紅早生農家の仕事」

学習指導者 滝井 康隆



1 本単元で目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

【授業の詳細】

本単元では、坂出市の特産品の一つであるみかん（小原紅早生）を生産する農家の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を明らかにしていく。まず、坂出市内でどのような農作物が生産されているのかを調べ、坂出市で生まれた小原紅早生の存在に気付き、実際に食べてみることで、その紅さやおいしさの理由に疑問をもち調べていく。時間・空間を広げた視点で調べ、みかん農家が剪定や摘果など年間を通して様々な作業を行っていることや、農園は山の斜面にあること、自然の木と比べてみかんの木は低く剪定されていることなど、農家の様々な工夫に気付き、その理由について話し合う。例えば、木を低く剪定している理由について話し合う際には、「木が高いと、手が届かなくて収穫できないよ」「低いと作業がしやすいのだね。木が低いと農園全体に日光が当たりやすくなっておいしいみかんができると思うよ」「木が高いと影ができて、日光が当りにくくなってみかんがおいしくなくなるね」などと、工夫の有無の状態を比較しながら、おいしいみかんを生産するための条件と農園の様子やみかん農家の工夫を関連付け、その意味を捉えていくのである。そして、収穫されたみかんは、農協の倉庫で追熟された後、身近な店で売られ、自分たちがおいしく食べることができるという、農家の仕事と地域の人々の生活との関連を考えていく。さらに、小原紅早生が市役所などの活動によって坂出市の特産品になってきたことを知った子供たちは、坂出市産のみかんのよりよい在り方を考え続けていくだろう。

2 単元計画と働きかけの概要（本時 7/9）

次	学習の流れ	働きかけ
一	① 坂出市のどこでどのような農作物がつけられているのだろう 坂出市内で生産されている農作物について調べ、みかん（小原紅早生）が特産品になっていることを理解する。	見通し 情【みかんチャート】②～⑨ 補助黒板に、農家の仕事や流通に関する疑問と既習事項をまとめて掲示することで、まだ解決していない課題を明らかにし、興味を感じやすくする。㊟興味を感じる学習課題を設定できたことを教師が称賛する。 行動 粘【比べて考えカード】④～⑦ 農家の工夫の理由を様々に考えやすくするために、写真や具体物等を用意すると共に、工夫の有無の両面の視点から考えることができるようなカードに記述できるようにする。㊟工夫の意味について、有無の両面から様々に考えられたことを、課題を解決できた後に教師が称賛する。 振り返り 信【みかんの力】①～⑨ 「話す、聞く、考える」の三つの力について自分の達成度を振り返り、その三つの力のうち、次時に特に取り組もうと思うことを決め、隣同士で話し合う。㊟本時の達成度を基に、次時でも頑張ろうとしている姿を教師が称賛する。
	② 小原紅早生は、ほかのみかんと何が違うのだろう 小原紅早生は、甘くておいしく全国的にも有名であり、多くの日光と、適量の水分によってより品質が高くなることを理解する。	
	③④ 森田さんは小原紅早生をどこでどうやって育てているのだろう 農園の様子を調べ、みかんが山の斜面で生産されている理由を考える。そして、みかん農家の一年の仕事を調べ、木の剪定、摘果、地面をシートで覆っていることなどに気付き、その理由に疑問をもつ。	
	⑤ 森田さんは、なぜ木を低く剪定しているのだろう 木を低くすることで、農園全体に日光が行き渡るようにすると共に、木の手入れや収穫をしやすくしていることを捉える。	
	⑥ 森田さんは、なぜみかんを摘果しているのだろう 摘果によって、品質の高いみかんを生産していることを捉える。	
	⑦ 森田さんは、なぜ地面に白いシートを敷いているのだろう シートによって地面の水分量を調整し、地面からの照り返しでみかんの木が浴びる日光の量を増やそうとしていることを捉える。	
	⑧ 小原紅早生は、どこにどのように出荷されているのだろう 小原紅早生が、農協の倉庫などで追熟された後、市内の直売所や店で販売されたり、全国各地に送られていることを理解する。	
	⑨ なぜ小原紅早生は、全国で有名になってきたのだろう みかん農家や市の活動によって、小原紅早生が坂出市の特産品になってきたことを捉え、坂出市産のみかんのこれからを考える。	
	三	

3 本時の学習

目 標	みかん農家が農園の地面を白いシートで覆っている理由について考え、友達と話し合う活動を通して、より品質の高いみかんを生産しようとしている農家の仕事の様子や意味を捉えることができる。
--------	---

学習活動と働きかけ	主な子供の意識									
見 通 し	<p>1 学習課題を設定する。 【みかんチャート】 【目標への情熱】</p> <p>前の時間は、摘果している理由が分かったよ。</p> <p>できの悪いものや、小さなものを減らすことで、その分の栄養が残ったみかんに行って、おいしいみかんができることが分かったよ。</p> <p>小原紅早生をつくるための工夫の理由についてだんだん分かってきたよ。白いシートを敷いている理由は何から分らないよ。</p> <p>白いシートも、ほかの工夫と同じように必要なのかな。</p>									
森田さんは、なぜ地面に白いシートを敷いているのだろう										
行 動	<p>2 農園の地面を白いシートで覆っている理由について考え、話し合う。 【比べて考えカード】 【粘り強さ】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">シートがあると地面に水がしみこまず、シートがないと雨水がどろどろしみこんでしまうよ。</td> <td style="width: 33%;">シートがあると雑草が生えなくて、シートがないと雑草が生え放題になってしまうよ。</td> <td style="width: 33%;">黒いシートだと光をはね返さないけれど、白いシートだと光をはね返すよ。</td> </tr> <tr> <td>地面からはね返された日光がみかんの木に当たるようになるね。</td> <td>このシートはつつつで水をはじくよ。地面に水がしみこまなさそうだ。</td> <td>シートは破れにくいよ。下から草が生えにくくなりそうだね。</td> </tr> <tr> <td>おいしいみかんには、日光が必要だったよ。白いシートで日光をたくさん当てるのだね。</td> <td>水が少ない方がおいしいみかんになるよ。斜面で育てているのも水はけをよくするためだったよ。</td> <td>草が生えない方が害虫も防げるし、よいみかんをつくることができるね。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">シートを敷いている理由をいろいろと考えることができたよ。</p>	シートがあると地面に水がしみこまず、シートがないと雨水がどろどろしみこんでしまうよ。	シートがあると雑草が生えなくて、シートがないと雑草が生え放題になってしまうよ。	黒いシートだと光をはね返さないけれど、白いシートだと光をはね返すよ。	地面からはね返された日光がみかんの木に当たるようになるね。	このシートはつつつで水をはじくよ。地面に水がしみこまなさそうだ。	シートは破れにくいよ。下から草が生えにくくなりそうだね。	おいしいみかんには、日光が必要だったよ。白いシートで日光をたくさん当てるのだね。	水が少ない方がおいしいみかんになるよ。斜面で育てているのも水はけをよくするためだったよ。	草が生えない方が害虫も防げるし、よいみかんをつくることができるね。
シートがあると地面に水がしみこまず、シートがないと雨水がどろどろしみこんでしまうよ。	シートがあると雑草が生えなくて、シートがないと雑草が生え放題になってしまうよ。	黒いシートだと光をはね返さないけれど、白いシートだと光をはね返すよ。								
地面からはね返された日光がみかんの木に当たるようになるね。	このシートはつつつで水をはじくよ。地面に水がしみこまなさそうだ。	シートは破れにくいよ。下から草が生えにくくなりそうだね。								
おいしいみかんには、日光が必要だったよ。白いシートで日光をたくさん当てるのだね。	水が少ない方がおいしいみかんになるよ。斜面で育てているのも水はけをよくするためだったよ。	草が生えない方が害虫も防げるし、よいみかんをつくることができるね。								
振 り 返 り	<p>3 考えたことを資料で検証し、まとめる。</p> <p>考えたことは、合っていたよ。シートの下にパイプを引いて、ちょうどいい量の水やりができるようにしているのだね。</p> <p>白いシートを地面に敷くことで、余計な雨水が地面にしみこむのを防ぐのだね。また、白くて日光をよく反射するから、地面から日光をみかんに集めることで、よりおいしいみかんになるのだね。白いシートは、おいしいみかんをつくるための工夫なのだね。</p>									
振 り 返 り	<p>4 本時の学習を振り返る。 【みかんの力】 【自分を信じる力】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">僕は、友達に説明するのを頑張ったよ。次の時間は、話すばかりじゃなく友達に質問してみようと思う。</td> <td style="width: 50%;">私は、考えをつくるのを頑張れたと思う。次の時間も頑張って自分なりの考えをつくりたいな。</td> </tr> <tr> <td>確かに、いい考えができていたね。</td> <td>わかりやすい説明だったと思うよ。次の時間も頑張るね。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">次の出荷について考える時間も頑張れそうだよ。</p>	僕は、友達に説明するのを頑張ったよ。次の時間は、話すばかりじゃなく友達に質問してみようと思う。	私は、考えをつくるのを頑張れたと思う。次の時間も頑張って自分なりの考えをつくりたいな。	確かに、いい考えができていたね。	わかりやすい説明だったと思うよ。次の時間も頑張るね。					
僕は、友達に説明するのを頑張ったよ。次の時間は、話すばかりじゃなく友達に質問してみようと思う。	私は、考えをつくるのを頑張れたと思う。次の時間も頑張って自分なりの考えをつくりたいな。									
確かに、いい考えができていたね。	わかりやすい説明だったと思うよ。次の時間も頑張るね。									

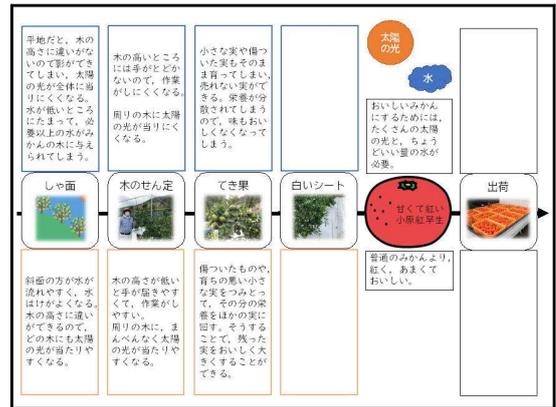
評 価	みかん農家が農園の地面を白いシートで覆う理由について、友達と話し合いながら粘り強く考えることで、地面の水分量を調整していることなどに気付き、より品質の高いみかんを生産しようとしているみかん農家の仕事の様子や意味を捉えている。 【方法：発言・記述】
--------	---

働きかけの詳細資料

～見通し～ 情【みかんチャート】(2～9時間目)

単元を通して、既習事項を補助黒板にまとめていく。同様のチャート図を子供一人一人がもっており、自分なりのまとめが書かれている。前時までに、甘くて紅い小原紅早生を生産するためには、みかんの木に日光を十分に当てること、適切な水分を与えることが必要であることを理解している。また、みかん農家がしている工夫とその意味について考えてきている。

本時では、みかん農家の森田さんが白いシートを地面に敷いている意味をまだ考えていなかったことを想起させ、学習課題へとつなぐ。学習課題を設定した後、白いシートは甘くて紅い小原紅早生を生産するためにどうして必要なのか、興味深い課題が設定できたことを意識させ、称賛する。



【みかんチャート (補助黒板)】

～行動～ 粘【比べて考えカード】(4～7時間目)

まずは、自分で考える時間を設定する。その際、右の図のようなワークシートを使うことで、白いシートを敷いているときと敷いていないときを比較し、両面から工夫の理由を考えることができるようにする。また、地面に敷いているシートのサンプルを配布し、手に取って触ることで、その強さや水を通さないことなどに気付かせる。子供たちは、既習事項や生活経験、実際にシートを触ってみたことで気付いたことなどを基に、白いシートの効果を様々に考えていこう。



【考えを記述するワークシート】

A児の様子を見て、考えをつくるのが難しそうなら既習事項を振り返らせ、他の工夫同様、より多くの日光を集めるため、あるいは、みかんの木が吸収する水分量を適切に保つために、白いシートが役に立ちそうなことに気付かせ、考えを一緒につくっていく。その後、班で考えを説明し合う時間を設定する。班で一枚のボードに、シートの有無の写真を貼り付けておき、そこに書き込みながら意見を交流する。その際、「日光」「水」「その他」の観点ごとに分けて交流することを意識させ、白いシートを敷いている理由をまとめていく。全体交流では、白いシートを敷くことで、雨水をはじいてみかんの木に余分な水分を与えず、日光を反射してみかんの木により多くの日光を集めることができる、という考えに集約していく。

これらの考えを検証するために、農家の話を紹介し、予想を確かめると共に、シートの下にパイプを通しており、適切な水分を与えていることにも触れる。白いシートを敷いている理由を、有無の両面から考えたり、既習事項とつないで考えたりすることで、課題を解決できたことを称賛する。

～振り返り～ 自【みかんの力】(1～9時間目)

単元全体を通して、「話す(説明する)、聞く(質問する)、考えをつくる」の三つの観点で自分の学習について振り返る。それぞれの観点について三段階で自己評価する。さらに、本時できたことやできなかったことから、次の時間にやってみようと思うことを選ばせ、隣同士で交流する時間を設ける。A児には、個別に声を掛けて本時の頑張りを伝えたり、次時に取り組むことを一緒に考えたりする。次時に頑張ろうと思うことを発表させ、本時の振り返りから、次時に取り組むことを考えられたことを全体に称賛する。

「みかんの力」カードのフォーマット:

- タイトル: 「みかんの力」カード
- 目的: 日々の勉強のふりかえりをしよう。どれくらいがんばったかな。次がんばりたいことを考えよう。→反たちに相談したり、伝えたりしよう。
- 評価欄: 話す(説明する)、聞く(質問する)、考えをつくる、話す(説明する)の4項目があり、それぞれに「話しやすい」「話しにくい」「聞きやすい」「聞きにくい」「考えやすい」「考えにくい」の6段階の評価が示されている。
- 記入欄: 話し(説明する)の欄に「次がんばることにO!」と記入するためのスペースがある。

【「みかんの力」カード】